

静岡いきもの散策マップ

鯨ヶ池コース

0 200m

名古屋方面

N



新東名高速道路

パンの成長

親鳥は全体が黒く、くちばしが赤と黄色ですが、若鳥は全体に褐色をしています。パンのヒナは、真っ黒で親からエサをもらう姿が見られます。



成鳥（親鳥）



若鳥



パンの親子

東京方面

- 舗装道路
- 高速道路
- 河川・池
- バス停
- P 駐車場
- トイレ

鯨ヶ池

この池は、安倍川の流れていた跡、あるいは安倍川の伏流水が自噴してきたものと考えられています。

この池の歴史はたいへん古く、さまざまな伝説や歴史上の記述が残されています。

池の名の由来は、奈良時代に鯨の形に似た丘があり、ある日突然、この丘から潮を噴くように靈水が噴き出してできたことから鯨ヶ池と呼ぶようになつと言われています。



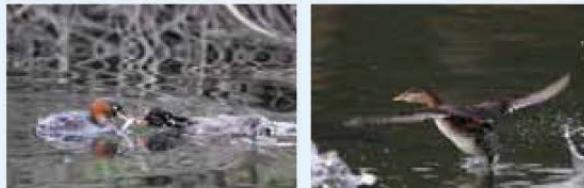
カイツブリ

カイツブリの首は、赤褐色で、冬には黄茶色になります。ヒナを背中に載せて運んだりもします。



夏羽

冬羽



雛に餌をあたえる

跳ぶ

鯨ヶ池入口バス停

至静岡市市街地

静岡市鯨ヶ池老人福祉センター

チョウトンボ

ヒシ

カイツブリ

ケリ

パン

弁財天

キセキレイ

鯨ヶ池フィッシングセンター

鯨ヶ池で、釣りをするときは遊魚料がかかります。遊魚料の詳細は、鯨ヶ池フィッシングセンターにお問い合わせください。
電話：054-294-9727

鯨ヶ池の外来種

- | | | | | |
|---------------|---------|-------------|----------|---------|
| | | | | |
| ■ ミシシッピアカミミガメ | ■ ウシガエル | ■ タイラクバラタナゴ | ■ オオクチバス | ■ ブルーギル |

静岡市 いきもの 散策マップ

鯨ヶ池コース



むし

- カラスアゲハ**: 4~9月まで3回ほど発生します。花の蜜を好みますか、夏は谷間の湿った道路で給水することもあります。
- コミジ**: はねを広げると5cmくらいの黒地に白い3本筋のあるチョウです。成虫は4~10月に見られます。
- クロイトンボ**: 黒っぽいはねを持つイトンボの仲間です。オスのからだは緑色にかがやいています。平地や丘陵地の河川沿いにすんでいます。
- コシアキトンボ**: はねを広げると6cmくらいのトンボです。黒色の腹の一部分は白くすけて見えます。成虫は5~10月に見られます。
- モンキアゲハ**: 大型のアゲハチョウの仲間で、後ろのはねの大好きな黄色い蝶が目立ちます。平地~丘陵地の樹林地にすみ、幼虫はカラスサンショウを食べます。
- ヒカゲチョウ**: 中型のジャノメチョウの仲間で、主に低山地の樹林地や公園に生息し、夕方に最も活動します。タケ、ササの仲間に餌にします。
- セスジイトンボ**: オスは腹部が黒く、尾の先に2つ以上の青い筋のあるイトンボのうち、背中の黒いもんに水色の線の入る種類です。主に平地などの土手や沼にすんでいます。
- ミヤマアカネ**: アカトンボの仲間で、はねにある濃茶色の帯が特徴です。主に山地にすみ、6~11月に見られます。
- アカタテハ**: 中型のタテハチョウの仲間で、前のはねの中央の赤い斑紋が目立ちます。成虫で越冬するので、早春から見られます。
- ベニシジミ**: 3cmくらいになる小さなチョウで、堤防や畑のまわりなどでよく見かけます。成虫は3~11月に見られます。
- ハグロトンボ**: 黒っぽいはねを持つカワントンボの仲間です。オスのからだは緑色にかがやいています。平地や丘陵地の河川沿いにすんでいます。
- コフキトンボ**: シオカラトンボよりやや小さく、すんなりしたトンボです。オスのからだは薄い青色で、白っぽい粉で覆われるのでコフキと呼ばれます。
- アサマイチモンジ**: 中型のチョウで、平地~山地の林のまわりにすんでいます。成虫は5~9月に見られます。
- ヤマトシジミ**: 人家のまわりでもよく見られます。幼虫はカタバミを食べ、成虫は3~11月に見られます。
- チョウトンボ**: はねを広げると7cmくらいで、青く幅広いはねでチョウのようになります。成虫は5~9月に見られます。
- ウチワヤンマ**: はねを広げると10cmくらいで、おしりの近くにうちわ型の突起があります。成虫は5~9月に見られます。



- 注意事項
- ハイキングでの安全は自己責任をお願いします。季節に合わせた服装、水や食料の準備、緊急時の連絡先の確認など、準備をしっかりしておきましょう。
 - 里山には、ハチ、ヘビやヒルなどの危険な動物もくらしています。出会ってしまったら、刺激しないよう注意し、ゆっくりその場をはなれてください。
 - コースの中には私有地が含まれる場合があります。果樹、花や山菜などを無断で取らないでください。
 - 動物も植物も、たくさんあるからといって、むやみにとるのはやめましょう。また、他の土地から動植物を持ち込まないようにしてください。

制作: NPO法人 静岡県自然史博物館ネットワーク
発行者: 静岡市環境創造課
〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号
TEL: 054-221-1357 FAX: 054-205-2666
制作年: 平成27年2月

とり・どうぶつ



●ハクセキレイ

セキレイの仲間で、体の色が灰色で、顔は白色です。水辺だけでなく、街中でも見かけます。



●ダイサギ

日本の白いサギの中では最も大きくなります。くちはしは、冬は黄色で、夏は黒く変わります。



●セグロセキレイ

全長21cmくらいの小鳥で、頭から背中にかけて黒色です。主に水辺で1年中見られます。



●アオサギ

日本で見られるサギの中でも最も大きくなります。全体的に青みがかかった灰色に見え、頭の後ろに長い冠羽があります。



●キセキレイ

スズメより大きく、ほっそりとし、胸から腹までが黄色い鳥です。主に水辺にすみ、昆虫などを食べます。



●ミサゴ

全長50~60cmくらいのタガで、内陸部の湖沼、広い河川、河口等にもすんでいます。



●ケリ

足の長い大型のチドリの仲間で、東日本では1年中見られます。水田、畑などで繁殖します。「チリッキリッ」と鳴きます。



●カワウ

魚を主食とする大型の水鳥です。近年数が増えてあちらこちらで見られるようになりました。



●カイツブリ

ハトより小さな水鳥です。全国の池や湖にすんでいて、水中に潜って魚をとつて食べます。



●カルガモ

1年中見られるカモです。オスもメスも同じ色で、くちはしの先が黄色です。



●パン

関東地方より南では1年中見られる水鳥で、クイナの仲間です。ハトくらいの大きさで、くちはしの根元が赤くなります。



●オオバン

東北地方北部より南では1年中見られるか、冬に見られる水鳥です。パンやりや大きく、くちはしは白色です。



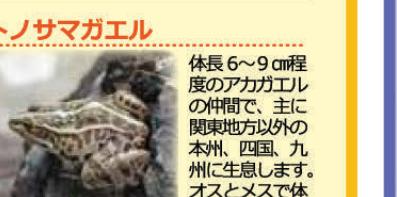
●クサガメ

甲長10~25cmの沼などにすむカメです。頭の側面に黄色の模様があり、甲らには3本の縦すじがあります。



●ミシシッピアカミミガメ

幼体はミドリガメと呼ばれ、ベットとして飼われますが、それが捨てられたりして増えており、生態系に問題が出ています。



●トノサマガエル

体長6~9cm程度のアガエルの仲間で、主に関東地方以外の本州、四国、九州に生息します。オスとメスで体色が異なります。



●ウシガエル

体長20cmにもなる外來種のカエルで、池や沼、湿地にすんでいます。「オーブオーブ」牛に似た声で鳴きます。



しょくぶつ

●カキドオシ

シソの仲間で、低地の草地や道ばたに生える多年草です。4~5月に赤紫色の花を咲かせます。

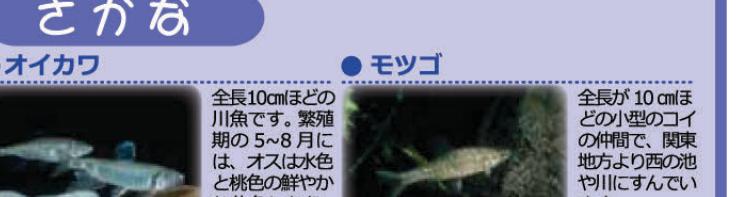
●カラススワリ

ウリの仲間のつる植物で、10~11月にオレンジ色の実をつけます。7~9月の夜間に、白い花を咲かせます。



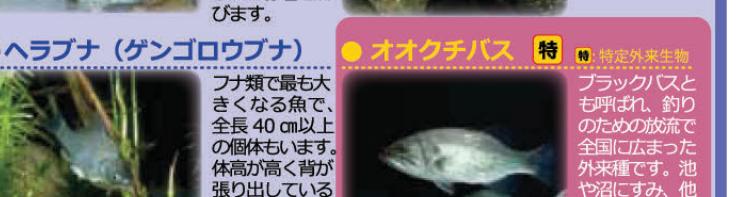
●スイレン

いくつかの野生種から品種改良された園芸種で、池や沼の水面に白い花を咲かせます。花は6~10月に見られます。



●モツゴ

全長10cmほどの川魚です。繁殖期の5~8月には、オスは水色と桃色の鮮やかな体色になり、ひれは赤色をおびます。



●ヘラブナ (ゲンゴロウブナ)

フナ類で最も大きな魚で、全長40cm以上の個体もあります。体高が高く背が張り出しているように見えます。



●オオクチバス

特定外來生物。ブラックバスとも呼ばれ、釣りのための放流で全国に広まっています。池や沼にすみ、他の魚を食べています。

